

2023 年 9 月号

J T C C ニュース

(一社) 日本繊維技術士センター

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維 J T C C」で検索できます。

< J T C C 開催講座のご案内 >

(対面講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が 37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

●令和 5 年度の技術士試験一次、二次試験の日程及び会場

項目	技術士一次試験	技術士二次試験
受験資格	制限なし	令和 5 年度の試験は予定通り実施されました。
受験申込書の配布	令和 5 年 6 月 9~28 日	
受験申込書の受付(写真要)	令和 5 年 6 月 14 日~28 日	
試験日	令和 5 年 11 月 26 日(日)	令和 5 年 7 月 17 日(月・祝) 終了
筆記合格発表	令和 6 年 2 月	令和 5 年 10 月
口頭試験	なし	令和 5 年 12 月
技術士資格合格連絡	文部科学省官報にて受験版番号告示	
試験会場	北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県及び沖縄県	

◆2023 年度 新入社員のための「分かりやすい繊維基礎講座」のご案内

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本講座は、令和5年に繊維関係の会社に就職された新入社員の方々や、初めて繊維関係のお仕事をされる方々、および繊維に関する基礎的で実用的な知識を学ばれたい方々のための「分かりやすい繊維基礎講座」です。

1. 講座の趣旨

対面講座については大阪市内あるいは近郊の繊維関係会社(繊維メーカー、アパレル製造・販売会社、衣料量販店、百貨店、商社、繊維団地など)の社員の方々を対象に、平日の夕方、会社業務がほぼ終わりにする時間より開催します。対面講座の会場は、地下鉄御堂筋線:本町駅に近い、輸出繊維会館 6 階の日本繊維技術士センター(JTCC)大阪事務所です。

また、**同時に講義内容をオンライン配信いたします。**

2. 講座の主な内容

講義は JTCC(日本繊維技術士センター)所属の技術士が担当し、画像や現物サンプルなどを用い、目・耳・手を駆使して繊維を理解して頂くよう、カリキュラムを工夫しています。

またオンライン配信ではその様子をご覧になって頂きます。

詳細内容および申し込みは JTCC ホームページをご覧ください。

◆「知っておきたいアパレル製品の基礎知識」講座（オンライン）

1. 日程と時間（Aコース、Bコースは同内容です）

Aコース 2023年10月14日(土)、21日(土)、28日(土) 何れも 10時～17時

Bコース 2023年10月17日(火)、24日(火)、31日(火) 何れも 10時～17時

2. 会場

オンライン方式で開催(Microsoft Teams を使用)

3. 講座スケジュールと内容

日程	テーマ	時刻	時間(分)
1日目 10月14日(土)	挨拶	10時～	5
	I. アパレル用繊維の種類と特徴	10時5分～	85
	II. 糸の特性、アパレル用生地(織物・編物)の種類と製造方法	11時30分～	80
	休憩(上記講義の途中)		60
	IV. 芯地、裏地、副資材、ラベルの種類と特徴	14時～	50
再配信 10月17日(火)	III. 繊維の染色と仕上加工	15時～	120
2日目 10月21日(土)	V. 繊維の試験方法(物性、染色堅ろう度、安全性、機能性)	10時～	120
	休憩	12時～	60
	VI. アパレル製品の企画・設計	13時～	50
	VII. アパレル製品の縫製準備(検反、裁断、芯貼り)	14時～	80
	VIII. アパレル製品の縫製(縫製、接着、設備)	15時30分～	90
3日目 10月28日(土)	IX. アパレル製品の検査・検針要領	10時～	50
	X. アパレル製品の表示・法令(家表法、景表法、薬機法など)	11時	90
	休憩(上記の講義途中)	～13時20分	60
	XI. アパレル製品の事故事例	—	—
	1. 染色堅ろう度(変退色と汚染)	13時30分～	50
再配信 10月31日(火)	2. 生地の物性(破損)	14時20分～	50
	3. 生地の物性(収縮、ピリング)	15時10分～	50
	4. 縫製不良(地糸切れ、シームパッカリング)	16時10分～	50

4. 受講料(消費税込み): 30,000円 定員:100名

5. 申込方法:JTCCホームページ <https://jtcc.or.jp/> から申込み、または、添付しています「受講申込書」に記入し、JTCC本部あてFAXあるいはE-mailでお申し込み下さい。

FAX:06-6484-6575 あるいは E-mail jtcc-ed-apa@mbrnifty.com(アパレル講座専用メール)

申し込み期間:2023年9月1日(金)～10月6日(金)

◆「新繊維ベーシック講座」(オンライン方式)の案内

◎日程:11月の土曜日コース(3回), 11月の火曜日コース(3回)の2種(同内容)

◎土曜日コース(配信日)⇒2023年11/4(土), 11(土), 18(土) 9:30~16:50

◎火曜日コース(再配信日)⇒2023年11/14(火), 21(火), 28(火) 9:30~16:50

月日	時間	テーマ	講師
・配信日 11/4(土)	9:30~11:00	①天然繊維に関する基礎知識	松永 伸洋
	11:10~12:40	②化学繊維・紡糸に関する基礎知識	松永 伸洋
・再配信日 11/14(火)	13:40~15:10	③糸(紡績糸・加工糸)に関する基礎知識	澤田 晴稔
	15:20~16:50	④高機能繊維・不織布に関する基礎知識	西中 久雄
・配信日 11/11(土)	9:30~11:00	⑤織物に関する基礎知識	佐藤 忠義
	11:10~12:40	⑥編物に関する基礎知識	松川 源栄
・再配信日 11/21(火)	13:40~15:10	⑦染色に関する基礎知識	津田 真
	15:20~16:50	⑧繊維加工技術に関する基礎知識	金崎 英夫
・配信日 11/18(土)	9:30~11:00	⑨アパレル製品の企画・縫製・製品検査に関する基礎知識	清嶋 展弘
	11:10~12:40	⑩苦情・環境対策に関する基礎知識(座談会方式)	清嶋&荻野
・再配信日 11/28(火)	13:40~15:10	⑪縫製工場の視察ポイント 各論:インナーウェアに関する基礎知識	吉仲 健一
	15:20~16:50	⑫各論:スポーツウェアに関する基礎知識	荻野 毅

受講料と定員

¥30,000 定員:土曜日コース, 火曜日コース とも各50名

申込み方法・申し込み期間・お支払い方法

JTCC ホームページ:<https://jtcc.or.jp/>から, JTCC 本部宛 E-mail または FAX で。

・E-mail:jtcc-ed-os@mbnifty.com ・FAX:06-6484-6575

・申し込み期限:2023年9月20日(水)~10月30日(月)

・郵便振替口座へ 口座番号:00990-6-134918

加入者名:JTCC 教育活動委員会

◆JTCC「公開講演会」

「先端繊維技術セミナー」の開催

□第1回先端繊維技術セミナー

教育活動委員会では、新たに技術情報発信部会を発足させ「先端繊維技術セミナー」を開催します。

本セミナーでは、JTCC 会員及び関係者の研鑽・技術情報収集・交換などにより、会員相互の資質向上に寄与して参ります。ご参加をお待ちしています。

日 時:2023年10月21日(土)13:30~16:30 開催方式:オンライン

[演題1]「ナノファイバーテクノロジー最近の動向」

講師:東京工業大学名誉教授 谷岡明彦氏

[演題2]「京都プロセスにより製造された CNF 強化プラスチックの開発と用途展開」

講師:京都産業技術研究所 仙波 健氏

※詳細および申し込み方法は JTCC ホームページに掲載しています。

◆JTCC東海支部 講座

2023年度「せんい産業資材講座」の開催

産業資材繊維の基礎とともに最新の汎用繊維の高性能化・高機能化技術、および高性能・高機能繊維（スーパー繊維）の製造方法・物性・用途等の特徴を丁寧に講義します。

日 時:2023 年 11 月 4 日(土)、11 日(土) 9:30～16:30

会 場:ウインクあいち(愛知県産業労働会館) 名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

11 月 4 日 906 号室、11 月 11 日 1309 号室

受講料:23,000円

定員 :28名

※詳細および申し込み方法は JTCC ホームページに掲載しています。

(JTCC会員様向けパンフレット)

(一社) 日本繊維技術士センター

「フェスタ'23 JTCC」へのご参加のご案内



平素は、(一社)日本繊維技術士センターの活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年も、以下の計画で「フェスタ'23 JTCC」を開催します。

お申し込みは、JTCC ホームページをご覧ください

<フェスタ'23のご案内>

日時:2023年10月15日(日) 12時～18時30分

会場:メイシアター(吹田市文化会館)3F TEL:06-6380-2221 (吹田市泉町 2-19-1 阪急吹田駅下車すぐ)

<プログラム(概略)>

12:00～13:30 会員作品展 (12:30～ 出展者によるギャラリートーク)

13:30～14:00 広告を掲載していただいた賛助法人・団体様のご紹介をさせていただきます。

14:10～14:20 開会のあいさつ JTCC 理事長

14:20～15:00 講演1「近畿産業局の取り組みについて」
近畿経済産業局 産業部次長 河上康裕氏

15:15～16:15 講演2「サステナブルな繊維学会を目指して」
繊維学会会長 大田康雄氏

(上記時間をオンラインで配信します。)

16:45～18:30 講師との交流及び懇親会

会場参加費 5,000円/人

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

「繊維製品における資源環境システム検討会」が設置され検討を行っています。

本検討会の開催趣旨 繊維製品分野に関しては、特に欧州において、環境配慮対応や人権デュー・ディリジェンスなどのサステナビリティに係る取組が急速に進展している。

2022年3月には、欧州委員会が、2030年までにリサイクル繊維を大幅に活用すること等を目標とする「持続可能な循環型繊維戦略」を公表している。こうしたグローバルな動向を踏まえ、我が国の繊維関連企業が、今後需要拡大が見込まれる海外市場においても競争力を維持・確保していくためには、繊維製品の資源循環システムの課題を整理し、必要な施策を講じていくことが重要。繊維製品の資源循環システムを確立するためには、大きく「回収」「分別・再生」「製造」「販売」の4つのフェーズで異なる課題が存在しており、それらを並行的に解決していくことが不可欠である。

本検討会では、こうした状況を踏まえ、国内における衣料品の回収方法、回収した衣料品の分別と繊維から繊維へのリサイクル・再生技術、製造時の環境配慮設計、販売時における消費者への理解促進等について議論し、課題解決の方向性を整理する。

「繊維製品における資源環境システム検討会」が6回開催され、その内容が発表されています。

- <第一回> 2023年1月20日
- <第二回> 2023年2月28日
- <第三回> 2023年3月14日
- <第四回> 2023年3月28日
- <第五回> 2023年5月29日
- <第六回> 2023年7月18日

8月中旬に以上の内容の「まとめ」が経済産業省より掲示される予定です。

2. 環境省

・新着情報なし

企業広告

東海サーモ株式会社

TOHKAI THERMO
QUALITY FIRST

ファッションの進化にも、挑戦にも、
きっとそこには東海サーモの衣料心地。

1958年の創業以来、東海サーモは芯地メーカーとして、アパレル業界のものを支えてきました。そこには、日本に製造・開発拠点を置き、一貫生産で守り続けた品質へのこだわりがあります。私たちはこれからも、独自に培った技術ノウハウや開発提案力を強みに、世界中のお客様に喜ばれる製品づくりに取り組んでいきます。より機能的に、より軽く、より強く。芯地の進化は、今までできなかったことを可能にし、ファッションに新しい価値を生み出すと信じて。

東海サーモ株式会社
http://www.thermofix.co.jp/

●本社／本社工場 岐阜県大垣市大井4丁目53 TEL(0584)89-3111(代)
●西大阪工場 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-7
●東大阪工場 大阪府千早赤松山町南2丁目11-6 東大阪ビル5F
●大阪営業所 大阪府大阪市中央区南船場1丁目4-1 TTNビル302号

●伊勢製衣株式会社 上野事務所
●伊勢製衣株式会社 上野工場
●東海製衣株式会社 香港事務所

東海サーモ

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●日本化学繊維協会（詳細は化繊協会のホームページ参照してください）

環境

＜ReHubs Europe が活動を本格化＞

7月13日、欧州繊維産業連盟(EURATEX)は公証人の前で「ReHubs Europe」設立に関する規約に調印した。

ReHubs Europe は、本部をベルギーBrussels の EURATEX の事務所内に設置する。

ReHubs Europe は、加盟企業が繊維リサイクル設備の設立や整備などに投資する活動を支援していくことで、2030年までに250万トンの繊維を繊維型のリサイクルを実現することを目標とする。

加盟企業のパートナー探しや知識・資金面での支援を行う。社会的な課題とされている欧州域内での750万トン/年の繊維廃材の回収、分別、リサイクル、リユースに関する支援も行う。これに関連して、分別回収の義務化やEPRスキームがEU各国に制定される見込み。

ReHubs Europe は、加盟企業へのサービス提供や、関連研究開発動向についての知識の普及、欧州の繊維リサイクルロードマップの紹介などを通じて、幅広い業界や社会的ステークホルダーにサービス・情報提供を行い、欧州において、新しいリサイクルのバリューチェーン確立を支援することを目指す。

●日本綿業振興会（詳細はホームページ参照）

- ・新情報なし

●日本染色協会（詳細はホームページ参照）

- ・新情報なし

4. （一社）日本衣料管理協会、（一社）繊維評価技術協議会（繊維技協）

●（一社）日本衣料管理協会

- ・新情報なし

●（一社）繊維評価技術協議会（繊維技協）

- ・新情報なし

●関西ファッション連合

- ・新情報なし



TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

せんに できることを とことん。

暮らしは、**せんい**で進化する。

今よりもっと、未来にできることを。

帝人フロンティアは、これからもフロンティア精神とともに繊維の新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献できるソリューションを提供し続けます。

帝人フロンティア株式会社

<https://www2.teijin-frontier.com/>



Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆＜繊維学会誌＞ 2023 年 8 月号



＜特集＞ 2022年度 繊維学会賞

○ 導電性高分子ナノファイバー:フレキシブル・エネルギーデバイスへの応用を目指して

東京農工大学 下村武史

1. はじめに

有機・高分子半導体材料はポストシリコン材料として研究が進められている。ナノファイバーの有機エレクトロニクスとしての活用の可能性を探る。

2. 導電性高分子ナノファイバーの構造

3. 導電性高分子ナノファイバーの電界効果トランジスタ(FET)特性

4. 導電性高分子ナノファイバーコンポジットフィルム

5. 導電性高分子ナノファイバーを用いた熱電交換

6. まとめ シリコンと比較して性能は劣る。異方性、柔らかい、軽いなど無機材料にない特徴を持ち、今後の応用に期待される。

○ 圧力誘起相転移を利用した低温性形成繊維高分子材料の創製

京都工業繊維大学 谷口育雄

1. はじめに

プラスチックはマテリアルリサイクルに課題がある。低温成形性を示す分解性高分子材料を開発した。室温付近で加圧成型加工を繰り返しても分子量変化が起らない。マテリアルリサイクルが可能になる。

2. 圧力可塑性高分子

3. 分解性バロプラスチック

4. 圧力可塑性高分子材料の可能性

5. まとめ

○ 廃カニ殻由来の新素材「キチンナノファイバー」の事業化とその配合製品の開発

鳥取大学 伊福伸介

1. はじめに

鳥取は松葉ガニの水揚げが日本一である。このカニの殻を利用したキチンナノファイバーの研究を行った。

2. 最後のバイオマス「キチンとキトサン」の生理機能

3. キチンとキトサンの生理機能

4. 機械的粉碎により得られるキチンナノファイバー

5. キチンナノファイバーの肌に対する効果

6. 大学発ベンチャー「マリナナノファイバー」の起業

○ デンプンを基盤とする海洋生分解性ポリマー材料の開発

大阪大学 宇山 浩、徐 于懿

1. はじめに

ワンウェイプラスチックの海洋性負荷が大きい。海洋性分解プラスチックの種類を増加させる。

2. デンプン含有生分解プラスチック

3. 熱可塑性デンプン/プラスチックブレンド

4. おわりに

デンプン/セルロース複合体の開発は、デンプンの耐水性や力学強度の不足を CNF の添加で改質する発想に基づいている。

○ 連続炭素繊維強化プラスチックの3D プリンティング入門

日本大学 上田政人

1. はじめに

3D プリンターに使用する樹脂を連続炭素繊維を含んだ炭素繊維強化熱可塑性樹脂フィラメント(連続 CFRP フィラメント)を使用した3D プリントの解説

2. 熱溶融フィラメント成形方式(FFF 方式)による熱可塑性樹脂の3D プリント

3. FFF 方式による連続繊維 CFRP の3D プリント

4. 連続繊維 CFRP のプリントパス最適化

5. おわりに

CFRP は比剛性や比強度に優れている。強化繊維に植物繊維を持ちこることもできる。



【解説】シリーズ「繊維産業における SX の取り組み」

○2050年二酸化炭素排出量正味ゼロの実現に向けた京都市の取り組みについて
京都市環境政策局地球温暖化対策室

1. はじめに
2. 京都市における地球温暖化対策の取り組み
3. 京都市の現状
4. 京都市地球温暖化対策条例と京都市地球温暖化対策計画
5. 計画に掲げる取り組みの方向
6. 取り組み事例
 - (1)脱炭素型ライフスタイルへの転換
 - (2)使用済み衣服の回収&循環プロジェクト
 - (3)建築物への再エネ利用設備の設置促進

○1. 環境・資源問題を人間の行動から考える

京都橘大学 永野光朗

○サステナブル・ファッション ～日本の進むべき方向～

消費者庁 政策立案総括審議官 片岡 進

1. サステナブル・ファッション
2. アパレル・繊維産業の環境負荷
3. アパレル繊維産業の現状
4. 日本の取り組みの現状
5. サステナブル・ファッションの全体像のイメージ
6. 海外(欧州)の取り組みの現状
7. フランスの取り組み
8. 消費者の意識
9. 日本の進むべき方向

○アダストリアのサステナビリティ

(株)アダストリア 福田泰生

○気候と生態系の危機に対してパタゴニアの持つリソースを行使する

パタゴニア日本支社 篠 健

◆＜繊維機械学会誌＞ 「月刊せんい」 2023 年7月号

○繊維製品の風合いの持続性とリデュースの可能性

武庫川女子大学 竹本由美子、加勢山 萌



1. はじめに
繊維製品をどの様にすれば長く使い続け、リデュースできるかを追求することで循環型社会や環境負荷軽減への貢献を目指す。
2. 繊維製品のリデュースに繋がるリデュース
3. 起毛・剪毛・縮充の仕上げ加工素材を用いた製品の購入時及び使用時に関する調査
4. 摩擦による素材表面の形態変化
5. 摩擦による素材表面の風合い変化
6. 摩擦による素材表面の剛軟性の変化

○型友禅業界下支えのための型自動彫刻システムの実用化事例紹介

(地独法人) 京都産業技術研究所 藪内 快、沖田実嘉子

○岡山県の地域資源の活用した繊維製品の開発

岡山県工業技術センター 國藤勝士

1. はじめに
2. 岡山県繊維産業の特徴
3. 岡山県工業技術センターにおける取組
 - ① デニム・ジーンズ
 - ②セルロースナノファイバー
 - ③小豆皮染色
4. 産業技術連携推進会議

◆＜日本技術士会誌＞ 「技術士 PE」 2023 年7月号



「デジタル技術特集」

- デジタル技術と技術士の取り組み
- 金属産業のデジタル化
- ODX リーダー人材育成
- ODX 実現のためのデジタル技術活用の工夫事例の紹介

(月刊誌)

◆＜加工技術＞ 2023 年7月号



OTMA2023 ミラノ展視察記 1

Advanced Consulting Partners 伊藤高廣

2023年の ITMA は何を語りかけたか? ～ミラノから世界を知る～

＜JTCC 新市場創造講座＞

○アパレルメーカーの生産・流通システム

JTCC 金田哲郎

1. はじめに
2. 日本のアパレル産業の現状
3. 日本のアパレル産業の歴史

○セルロースナノファイバーの最新動向

セルロースナノファイバー強化プラスチックの発泡成形分野での応用

(地独)京都産業技術研究所 伊藤彰浩

1. はじめに
2. CNF 強化ナイロンの発泡成形
3. 熱可塑性エラストマーの展開
4. フィルムインサート成形との組み合わせ
5. おわりに

発泡成形においてプラスチック中に CNF を良分散させてネットワーク構造を形成させることで気泡微細化、補強効果をもたらす力学強度を改善できる

＜時空繊維＞

21 明治京都の都市おこしプランナー 山本覚馬

JTCC 八木健吉

- ・明治京都の復興
- ・山本覚馬を知る
- ・江戸で西洋砲術を極める
- ・京都で会津藩の公用人を務める
- ・薩摩藩邸で「管見」を著す
- ・京都府顧問に
- ・勸業政策
- ・教育政策
- ・キリスト教と新島襄との出会い
- ・山本覚馬を駆り立てたもの
- ・山本覚馬の史跡

【用途 特集1】衛生材料2(ワイパー・化粧品雑貨・食品関連)

○紹介企業名

・フタムラ化学 ・ユニチカ ・日清紡テキスタイル ・赤ちゃん本舗 ・D&D
・ソフト99コーポレーション ・マンダム ・機能素材

企業広告

テックワン株式会社



晴れた日に子どもにさしてほしい傘

陽まもり傘

HIMAMORI-SAN 夏の強い日差しから君の笑顔を守りたい

夏の太陽は子どもの体力を奪う強敵です。だからこそ晴れた日も子どもに傘をさしてほしい。そんな想いから、遮熱性と防水性に優れた子ども用の傘を作りました。“陽まもり傘”は雨だけでなく、太陽の熱と紫外線から大切なお子様をお守りします。

50%以上の遮熱効果（熱中症予防）

＜通常の雨傘使用の場合＞	＜陽まもり傘使用の場合＞
熱は傘を通過し、人形の温度が上昇	傘の裏面に、特殊フィルム加工を施した生地が熱を遮蔽し人形の温度上昇を防いでいます

紫外線の遮蔽率99%
裏面の特殊フィルムは紫外線もカットしてくれます。

お子様の安全に配慮
露先を傘生地で包む事で、突起箇所を減らしました。（特許出願中）

陽まもり傘（HIMAMORI-SAN）子ども用（晴雨兼用傘）
カラー／ホワイト、サックスブルー
3,000 円（税込、送料込）
販売場所 TEXTILE PROJECT

購入はこちら /



TECONE テックワン株式会社
TEL 0761-55-0761 <http://www.tecone.co.jp/>

◆＜新聞、他＞

織研新聞

○2023年5月 の衣料品の輸入（数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比）

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	524	2800	329	2,750	853	57.3	5,550	49.5
		▲6.3	▲1.1	9.3	6.0				
2	ベトナム	152	957	65	912	216	14.5	1,869	16.7
		11.6	25.0	11.0	23.1				
3	バングラデシュ	94	377	30	322	124	8.3	699	6.2
		▲5.3	3.8	▲18.9	▲1.0				
4	カンボジア	52	257	29	333	81	5.4	590	5.3
		▲12.4	7.2	▲4.5	5.7				
5	ミャンマー	40	180	44	483	84	5.6	663	5.9
		15.5	23.4	32.0	45.8				
6	インドネシア	21	162	19	249	41	2.8	411	3.7
		▲7.5	9.5	9.0	31.2				
7	イタリア	1	157	1	250	2	0.1	427	3.8
		6.8	36.4	12.3	42.2				
	全世界	940	5,385	548	5,829	1,488	100	11,214	100
		▲3.3	7.0	8.4	14.1				

出所:日本貿易統計

業界待望のバイブル!!

次代につなぐSDGs
持続可能な染色加工をめざして

日本を代表する繊維技術士16名による実践のノウハウ書

テキスタイル実務者 必携

実践の染色読本

● 企画：日本染色加工同業会80周年記念事業

● 編著：一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)

● 発行：株式会社 ファイバー・ジャパン
<https://www.fiberjapan.co.jp>

● 体裁：B5判 350ページ

● 定価：本体 10,000円 + 税/送料 550円別

詳細はこちらから



6月12日 発刊!!

「発刊にあたって」より (抜粋)

本書の内容は今までにない充実したものと自負。初心者を対象というよりむしろ染色の実務経験のある方にぜひ読んでいただきたい。(JTCC 嶋田氏)

「発刊のご挨拶」より (抜粋)

当同業会の80周年記念事業として、「実践の染色読本」を発刊することになりました。現存する染色加工に関するノウハウ書はありません。今回の企画により染色加工技術分野唯一のノウハウ書が誕生することになり、次代の染色加工技術の持続可能な礎になると確信しています。

執筆と監修は日本繊維技術士センター技術支援委員会に協力いただきました。染色加工技術分野は多岐に渡っていますが、詳細に執筆いただき充実した内容になりました。

テキスタイル関連に携わる実務者は、海外を拠点に活動をしており、このノウハウ書「実践の染色読本」を必携書として有効に活用されることを切望します。

日本染色加工同業会

理事長 伊藤 博
代表幹事 今田 邦彦

「発刊に寄せて」より (抜粋)

日本染色協会は、当業界の将来に向けての課題解決案として、①「SDGs」への取り組み、②新商品開発等への新たな取り組みを掲げております。これらの課題達成に向けて、今回、日本染色加工同業会の80周年記念事業として企画され、長年、染色加工に従事され蓄積された技術の粋を結集された本書は、今後、当業界の染色技術者育成の基礎となり、染色の現場で発生している不具合の種々の課題解決に寄与するものと確信しております。

一般社団法人 日本染色協会

会長 後藤 勝則

執筆者一覧 (五十音順・敬称略)

秋丸 光嗣	(一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・和歌山染工機
有瀧 宗重	(一社) 日本繊維技術士センター 執行役員、元・東洋紡機、元・大同マルタ染工機
今田 邦彦	(一社) 日本繊維技術士センター 顧問、元・住友化学機
上本 雅則	(一社) 日本繊維技術士センター 正会員、元・東レコーテックス機
越智 清一	(一社) 日本繊維技術士センター 客員、元・東洋紡機、元・(一社) 繊維評価技術協議会
大島 直久	(一社) 日本染色協会 理事 大阪事務所長 兼 技術部長、元・東海染工機
金崎 英夫	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・日華化学機
嶋田 幸二郎	(一社) 日本繊維技術士センター 理事長、元・帝人機、尾張整染機
寺崎 正淳	㈱日阪製作所 プロセスエンジニアリング事業本部
西村 元廣	(一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・ユニチカ機
橋田 佳雅	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、モリリン機
橋本 嘉顯	(一社) 日本繊維技術士センター 理事、元・東洋紡機
馬場 武一郎	(一社) 日本繊維技術士センター 正会員、日本毛織機 衣料繊維事業本部
松田 芳樹	(一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・DIC機
水	

本書の内容

各章のタイトルに解説情報を
検索できるキーワードを記載

- ・発刊にあたって
..... 日本染色加工同業会
理事長 伊藤 博
- ・発刊に寄せて
..... 一般社団法人 日本染色協会
会長 後藤 勝則
- ・発刊にあたって
..... 一般社団法人 日本繊維技術士センター
理事長 嶋田 幸二郎

第1章 はじめに

- 1.1 繊維の生産状況
 - 1.1.1 世界の主要繊維の生産推移
 - 1.1.2 日本の染色整理生産量
 - 1.1.3 ニット生地（テキスタイル）の種類と生産量
 - 1.1.4 ニット生地の染色整理加工量
 - 1.1.5 各国の労働賃金格差について
- 1.2 日本の繊維産業の中の染色整理業の位置づけ
 - 1.2.1 日本の繊維産業の中の染色業界
- 1.3 染色大手企業の収支実績
- 1.4 染色整理業は各種要素技術から成り立つ
- 1.5 SDGs に向けた環境対応

第2章 染料概論（染料と染色）

- 2.1 染料
 - 2.1.1 染料の名称
 - 2.1.2 染料の記号
 - 2.1.3 染料の染色上の分類
- 2.2 染色理論
 - 2.2.1 染色現象の概説
 - 2.2.2 染料分子と繊維との結合力
- 2.3 繊維と適性染料
 - 2.3.1 セルロース系繊維用染料
 - 2.3.2 羊毛、ポリアミド繊維用染料
 - 2.3.3 ポリエステル繊維の染色
 - 2.3.4 アセテート繊維の染色
 - 2.3.5 アクリル繊維用染料
- 2.4 蛍光増白剤
 - 2.4.1 蛍光増白効果の原理
- 2.5 顔料
 - 2.5.1 染料染色と顔料染色の比較

第3章 色合わせと色彩管理

- 3.1 色合わせ
 - 3.1.1 色合わせの方法
 - 3.1.2 色合わせの技術者に必要な能力と知識
- 3.2 色彩管理（色の評価方法）
 -

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、jtcnews@mbr.nifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です。)

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題、JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:jtcnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、jtcnews@mbr.nifty.com です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 広報委員会 JTCC ニュース担当 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469